

風紋

2025

No. 628 (2月号)



浜岡砂丘



増田組ホームページ



カタログパーク

ICT施工 3D点群

当社では、ICT施工の3D点群ソフトを導入しました。

3D点群とは

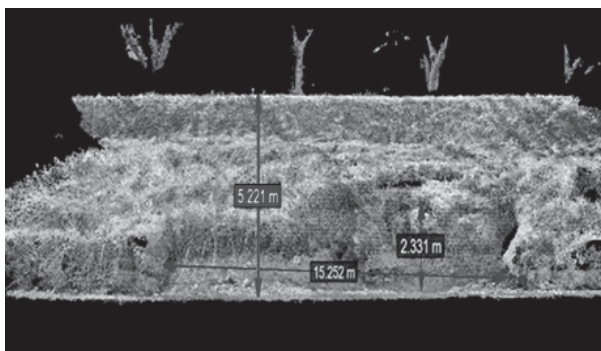
3D点群とは、物体や環境の形状を三次元空間で表現するためのデータの集まりです。

この技術は、レーザースキャン、写真測量などで得られ、建物の設計や地形の解析、製品の検査など、さまざまな分野で活用されています。

3D点群を活用すること

で、現実の物体や環境を高精度に再現し、効率的な作業が可能になります。

下の画像は一見、ただの川の堤防の写真に見えますが、実は座標データを持った点の集まり



なのです。

このように、3D点群は現場の測量と計測に役立ち、従来の手作業による測量と比べて、迅速かつ高精度で広範囲を計測できるため、建設現場の正確な寸法や形状を把握するのに非常に効果的です。これにより、設計や施工の前提となる現場データが正確に取得することができます。

活用してみて

「新たに導入したQuick3Dを実際に現場で使用して、送水管の計測や残土の計測を行っています。実際に使用してみてもその効果を実感しています。」

送水管を布設した際、その位置を点群データとして記録することで、将来的に「どこに管が入って

いるのか」を簡単に把握できるようにになります。これにより、後の工事などで管の位置を探し回る手間が省け、効率的に作業を進めることができます。また、現場で発生した残土の量もQuick3Dを使えば簡単に計測することができ、従来は計測に人手も作業時間も多くなっていたことが、Quick3Dでの計測は、一人でおこなう短時間で正確な測定が可能のため、作業の進捗をより簡単に把握できるようになり現場でのさまざまな面で効率的に役立てていきたいと思っています。」



新年の抱負



常務

山下 茂俊

新年あけましておめでとうございます。本年も皆様にとって良い年となる事を御祈りしております。

昨年末に二十年の余継続出来ていた無事故無災害記録が、途絶えてしまいました。事故内容とすれば休業四日以上上の労働災害でした。この事故に関する是正処置は当然のことですが、日々の安全管理、安全パトロールの強化、安全朝礼の強化、ヒヤリハット活動の活性化、事故発生時の連絡体制の再確認等対策を講じて、令和七年より心新たに再スタートする様に事業部一丸となり、安全第一をスローガンに邁進していきましよう。

また温暖化の影響もあり、異常な寒さ、大雪、春と秋の季節の変化や六月より十月での気温上昇による熱中症予防対策や、コロナあるいは、インフルエンザを含む感染症対策等や、業務上でのストレスによる健康被害等労働衛生上での問題発生もあわせて健康第一で令和七年も乗り切っていましよう。



取締役事業本部長

藤原 茂伸

新年を迎えて、早くも一月が経ちます。昨年は元旦早々、能登半島地震、九月には能登半島豪雨、また、八月には初めて南海トラフ地震臨時情報が発令されました。被害に遭われたすべての方々からのお見舞いを申し上げます。

建設業は地域に密着し、地域貢献をする事が義務であります。災害時には、すぐに対応できる体制を関係者の方々と協力し合い、今後も維持・強化に努めていきたいと思ひます。

事業部の新年の抱負としまして已のように再生と変革を起こしながら、社会変化に柔軟に対応し、新しい技術やアイデアを取り入れICT・DXへの取り組み、そして基本である「安全」を最優先に安全・安心な職場、働きやすい魅力ある会社となるよう、社員全員で考え、協力し合い実現に向け取り組んでいきます。



事業部 部長

落合 雅敏

謹んで初春のお慶びを申し上げます。今年も無事に新年を迎えられたのは弊社に関係する方々のご理解とご協力があつてこそだと思ひます。心よりお礼申し上げます。

新年の抱負としましては、今年はまだ還暦の六十歳の巳年で年男となります。巳年というあまり良いイメージがありません、執念深い、しつこい等々があります。

しかし巳年生まれの人には同情心が厚く人の為につくすという面も持ち合わせていると言われています。

人の為につくすということでは、事業部全体で協力し合い、職場の環境をよくし、働きやすい場所へとしていきたいと思ひます。今年もいろいろと至らないことがあるとは思ひますが、一致団結してより良い仕事ができるように頑張りましょう。

新年安全祈願祭・仕事始めの式

一月六日(月)、令和七年の新年安全祈願祭並びに仕事始めの式を執り行いました。

安全祈願祭では、高松神社中山神官様をお迎えし、社員・協力会社の皆様一同の無事安全と会社の発展を祈願し、厳かな雰囲気の中で執り行われました。

続く仕事始めの式では、社長より年頭の挨拶がありました。

昨年の実績を振り返るとともに、本年の目標や安全への協力があり、全社員協力業者一丸となつて新しい年に取り組んでいく決意を新たにいたしました。

参加した社員・協力会社一同、新年の決意を胸に、気持ちを新たに業務に取り組むことを誓ひ合いました。



世の中様見 10 坂間 清

食糧自給率

アメリカ大統領にトランプ氏が就任し、数々の大統領令に署名しています。今後どのようなことになるのか不確実性の要素が多く、なかでも関税政策を就任前から打ち出し世界中の関心を集めております。

日本国内では温暖化の影響により猛暑が続く、昨年は米の価格の高騰や異常気象に伴う影響で野菜や果物が異常な価格となっており、あらゆる商品の値上げが続いています。今年は4月以降賃上げに伴う価格改定が予定されており、消費者物価は値上げばかりでエンゲル係数も上がり、生きていくうえで最も重要な食を制するものは、全てを制すと言われております。

日本の食糧自給率

統計によりますと2017年の日本の食糧自給率は38%で、62%は輸入に頼っております。先進国では最低水準です。参考



までにカナダは266%、オーストラリアは200%、アメリカは125%、イギリス65%、イタリア60%、スイス51%です。

日本も戦後1946年の自給率は88%でしたが、それからゆるやかに下がりはじめ平成に入ると50%に割り込み2006年は40%前後となりました。

減少の要因として戦前は国内生産が主な米、野菜などを使った食事が中心でしたが、戦後は復興に伴い食生活が欧米風に変化し、国内生産が少なく外国からの輸入頼りの小麦を使ったパン、飼料や原料の多くを輸入に頼る畜産物（肉類）油脂類の消費の増加。また平地面積の狭い日本では広い牧場の確保や大量の飼料の生産が難しいため、それらの食品や飼料は輸入に頼らざるをえないのです。

もし異常気象や天候不順、あるいは国際情勢など何らかの理由で輸入が途絶えたらどうなるか、また爆発的な世界の人口増加により地球規模での食糧不足など、そのため自給率を向上させる対策が早急に必要ない状況です。

対策

①耕作放棄地の利用。農地面積の25%減少の解消。

新規就農への支援

制度や農業法人への

就職促進。行政

や民間を問わず農

業への支援。

②農業生産力の向上。農業人口の都市部への人口流出が50年で700万

減少。人口減少に伴い、農作業の省力化、効率化、先端技術の導入による「スマート農業」へ進化。

③地産地消。その土地、気候風土に適合した食物を食べる。

④食品ロスをなくす。SDGsの取り組みが少しずつ進んでおりますが年間1900万トンのロスの解消。

⑤フードテック。AIやIoTなどの最先端のテクノロジーを駆使して食問題を解決。

今、飢餓に苦しんでいる人の数は全世界で約10億人。世界の人口の約7人に1人です。アフリカでは約3人に1人が飢餓状態と言われ、私たち日本人の食糧自給率に限らず「食」に対する危機感をもち、考えを改めなければならぬ。



御前崎市建設業組合・御前崎市会 道路啓かい訓練

御前崎市建設業組合の一員として道路啓かい訓練に参加しました。

有事の際には、建設業の使命として出動しなくてはなりません。継続して連携を図って地域の安全を守る増田組として重要性を再認識できました。



新入社員紹介



管理営業部
浅倉 由紀

令和六年十月より増田組に入社し管理営業部配属となりました浅倉由紀です。

このたび、歴史ある建設会社の一員となりました。身近な道路や建物が完成していく様子を見て、建設業が地域の暮らしに必要なことを実感し、自分自身も地域の未来をつくる一員になれることを誇りに思っています。まだ業界について知らないことも多く、新しいことを学ぶ毎日ですが、先輩や同僚の皆様から多くの知識を吸収し、一日でも早く即戦力として貢献できる存在になれるよう努力を重ねていきたいと思っています。困難な場面に直面しても、常に前向きな気持ちを忘れず、仲間と力を合わせて、乗り越えていきたいと思っています。

これからどうぞよろしくお願いいたします。

インフルエンザ注意

昨年の十二月初旬から感染者が急激に増え、年末年始に辛い正月休みを迎えた方もいるかと思いますが。今はまだ感染していない方でもどこから感染するのか、重症化や合併症を引き起こすこともあるため、早期予防が重要になります。

簡単に始められる対策としてはマスク着用、手洗いうがいはもちろんですが、腸活を始めてみるのも良いかもしれません。毎日の食事の中に善玉菌を含む（発酵食品等）食品を取入れたり、ストレッチをしたりして質の良い睡眠の確保や免疫力のアップにより感染リスクを抑えることが期待できます。病気に負けない健康な身体を内側から鍛えていきましょう。



Stopザ交通事故in菊川

令和七年一月一日～

令和七年十二月三十一日

今年も『Stopザ交通事故in菊川（交通事故防止コンクール）』に参加します。全員が無事故・無違反を達成できるよう頑張ります。

参加者

山下・落合・藤浪・

高橋・志村

2月安全努力目標

年度安全標語《一歩の安全 未来の安心》
慣れた作業のみえない危険

作業安全

- ・一声かけによる不安全行動の排除
- ・体調管理と感染症予防対策の徹底

交通安全

- ・夕暮れ時の早めのライトオンの実施

環境目標

- ・（社内）室内の温度でエアコンのON/OFFを行いましょう
- ・（現場）工事用車両のエコドライブを心がけましょう

行事記録

(12/27 ~ 1/26)

建設業年末年始労働災害防止強化週間
12/28 ~ 1/5 冬季休暇

1/6 (株)増田組

新年安全祈願祭・仕事始めの式

1/8 中電不動産(株)新年安全祈願祭

袋井建設業協会「新年のつどい」

1/9 シーテック安全衛生協議会

1/15 掛川法人会青年部会理事会・掛川

1/16 御前崎市商工会新年祝賀会

御前崎市建設業組合全体会

1/17 西部地域情報伝達訓練兼道路啓開合同訓練

1/24 御前崎市建設業組合合同パトロール

AMF推進協会 定期報告会開催・浜松

行事予定

(1/27 ~ 2/26)

1/27 中建設業大会準備委員会・名古屋

1/30 高齢者等見守りネットワーク事業

協力事業所連絡会

2/5 経営事項審査

2/14 社会保険講座・年金委員研修会・掛川



すべてに心をくばる



株式会社

増田組

TEL. 0537-86-3245
FAX. 0537-86-6675

Email. info@msd1912.com
URL. https://masudagumi1912.co.jp/

発行